

令和8年度 能登町立柳田中学校 前期学力向上プラン

研究主題 自ら考え、共に学ぶ生徒の育成～学びをアップデートする力の育成を目指して～

目指す生徒の姿

- 単元の始まりで、学習の見通しをもつことができる。
- 単元の終わりに、学びの深まりを感じることができる。

(1) 現状と課題(R)

児童生徒の課題	現状と要因・根拠となるデータ																		
・授業の中で活動を通して考えを書くことができるが、検証問題の正答率が伸びていない。	[現状と要因] ○授業での話し合いや表現活動では、活発に取り組む力がある。 ○授業に落ち着いて臨んでおり、授業での問返しや視点の提示を通して、ねらいの達成につなげることができた。 △検証問題の正答率に明確な上昇が見られない。 →自己の力で、問題から必要な表現や条件を読み取って対応する力が弱い。 [根拠となるデータ] ・4月の全国学力・学習状況調査及び県基礎学力調査 自校採点結果（3年） 下の段は、思考力・判断力を問う問題のうち、正答率が低かったもの。 <table><tr><th>教科</th><th>国語</th><th>数学</th><th>社会</th><th>理科</th><th>英語</th></tr><tr><td>正答率</td><td>83.9%</td><td>72.8%</td><td>68.8%</td><td>65.5%</td><td>-</td></tr><tr><td>正答率が低かった問題</td><td>57% 大問3(4)</td><td>43% 大問7(2)</td><td>7% 大問1(2)③</td><td>14% 大問8(1)Y</td><td>-</td></tr></table> ・4月 生徒アンケート結果 ①単元の始まりで、学習計画の見通しを持つことができた。 あてはまる 36.8%、 ②単元の終わりに、学習前よりも学びが深まったと感じる。 あてはまる 47.4%	教科	国語	数学	社会	理科	英語	正答率	83.9%	72.8%	68.8%	65.5%	-	正答率が低かった問題	57% 大問3(4)	43% 大問7(2)	7% 大問1(2)③	14% 大問8(1)Y	-
教科	国語	数学	社会	理科	英語														
正答率	83.9%	72.8%	68.8%	65.5%	-														
正答率が低かった問題	57% 大問3(4)	43% 大問7(2)	7% 大問1(2)③	14% 大問8(1)Y	-														

(2) 計画と実行(P・D)

具体的取組	検証項目(検証方法)	検証結果
○単元の始まりで見通しを持たせる。	実施検証 ①単元の始まりで、学習計画の見通しを持たせる取り組みを行った。 (教員アンケート) 100 %	%
○単元の終わりに、学びの意義を価値づける省察（振り返り）を行う。	②単元末の振り返りでは、学びの意味を持たせる工夫を行った。 (教員アンケート) 100 %	%
	成果検証 ③単元の始まりで、学習計画の見通しを持つことができた。 (生徒アンケート) 肯定最上位 60 %	%
	④単元の終わりに、学習前よりも学びが深まったと感じる。 (生徒アンケート) 肯定最上位 60 %	%
	⑤授業のねらいを達成している (研究授業) 80 %	%
	⑥検証問題（思考力・活用力を図る問題）分析 (学期に2回) 60 %	%

月	検証計画(誰が、いつ)	結果	取組の成果○・課題△
4	☐ R8 全国学力学習状況調査分析 (集計・分析 T) ☐ R8 県基礎学力状況調査分析 (集計・分析 T) ☐ 学習アンケート (指導・研究 T)	% % %	○ △
5	☐ 研究授業①(赤坂教諭, 5月19日) ☐ 診断テスト①分析 (集計・分析 T)	% % %	○ △
6	☐ 研究授業②(鳥崎教諭, 6月29日) ☐ 単元アンケート (集計・分析 T)	% %	○ △
7	☐ 診断テスト②分析 (検証・研修支援 T) ☐ 教員アンケート (指導・研究 T) ☐ 学習アンケート (指導・研究 T)	% % %	○ △

(3) 検証と改善(C・A)

取組の成果○・課題△	目指す児童生徒の姿の達成状況
○ △	%